

まちだに集まろう!



第10節

4.11

(土) 14:00
KICK OFF

FC 町田ゼルビア



VS



柏レイソル

天空の城 野津田 (町田GIONスタジアム)



まちだに集まろう!

4月11日(土)第10節柏レイソル戦は、“**まちだフェス**”を開催!

町田にちなんだ催し物が盛りだくさん。

そんな一戦を前に、町田で育ち、町田で闘う“**ご当地プレイヤー**”

真也加チュイ大夢選手にインタビュー。

愛する街・町田とチームへの思いを語ってもらった。

町田で闘うご当地プレイヤー
MF60 真也加チュイ大夢

トップチームで プレーできて 本当に嬉しい

「町田GIONスタジアムの魅力は?」
「小学生の頃から所属していたクラブチームのみんなで、試合を観に行っていました。もちろん、試合を観るのもそうですが、グラウンドの周りに自然があったり、子どもたちが遊べる場所があったりするのがいいところだと思います。町田市を代表するスタジアムだと感じますね。当時から憧れていた場所でプレーできるのは、本当に幸せなことだと思います」

「学生時代の町田の思い出はありますか?」
「サッカーをしている時間がほとんどでしたが、学校の行事のあとや卒業のタイミングで、クラスのみんで町田駅周辺のゲームセンターやボウリングに行ったり遊んだりしたのは良い思い出ですね。学生にとってはそういう賑やかな場所があるのも町田のいいところだと思います」

「生まれは群馬県ですが、いつから町田に住み始めたのですか?」
「小学校1年生になるタイミングで群馬県から町田市に引っ越してきました。そこからずっと町田に住んでいます。町田の良いところは、他の街と比べても自然が多く、大きい公園もあって、リラクゼーションできるというか暮らしやすさはすごく感じます。バスもいるいるなど出ていて町田駅にも遊びに行けますし、どこへ行くにも便利で、いろんな楽しみ方ができる街だと思います」

「最後に町田という街への思いは?」
「町田はやはりすごく好きなお街です。他の街に住むことは考えられないくらい(笑)。もし将来どこかに住むことになっても、また戻ってきたいなと思うくらい住みやすい街ですね」

「アカデミー出身選手として思いも強いのでは?」
「そうですね。小学1年生からスクールに入って、小学5、6年生でスペシャルクラスに入りました。その後、ジュニアユース、ユースとずっとこのクラブで育ってきました。自分の中では『ここでプレーして活躍する』というのがずっと一番の目標だったので、今トップチームでプレーできてるのは本当に嬉しいです。今はまだその途中ですが、『町田から世界へ』というクラブのフレーズがあるように、世界を目指して頑張っていきたいと思っています」

「今のFC町田ゼルビアの魅力は?」
「チームとして急成長している中でも、勝ちにこだわっているところだと思います。結果をしっかりと出しているのも魅力ですし、ファン・サポーターの皆さんを大事にしているクラブだと感じています。いつも温かい言葉をかけていただくので、本当にありがたいです」



MF 60 真也加 チュイ 大夢

2006年8月11日生まれ、19歳。
忠生SC(FC町田ゼルビアフットボールスクールスペシャルクラス)、FC町田ゼルビアジュニアユース、ユースを経て、2025年トップチームへ昇格を果たす。

町田市立小山田南小学校、小山田中学校を卒業後、東京都立町田総合高校へ進学。町田市、そしてFC町田ゼルビアとともに成長を続けてきた若きプレイヤー。